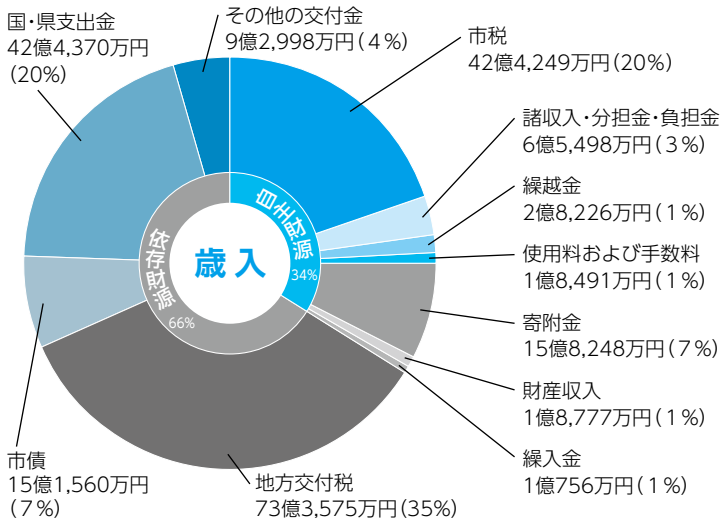


普通会計 歳入の内訳

歳入総額 212億6,748万円



平成28年度
小城市の家計簿

決算報告

平成28年度の小城市の決算がまとまりました。普通会計の決算をもとに家計に例えてみましたので、一緒に見ていきましょう。



小城家の家計簿

市の普通会計決算を家計に置き換えました。1カ月の家計の収入と支出を、市民1人当たりの金額に置き換えると次のようになります。

※普通会計決算額を市の人口（平成29年3月31日）で割っています。

平成29年3月31日 住民基本台帳人口 45,518人

小城家の1カ月の収入の内訳

収入	金額	増減率
給料（市税）	93,205	3.0% ↑
親からの援助（国・県支出金など）	274,824	1.7% ↓
雑収入（諸収入・寄附金など）	57,343	6.9% ↑
貯金の取崩し（繰入金）	2,363	62.6% ↓
前月からの繰越金（繰越金）	6,201	14.6% ↑
新たな借入金（地方債）	33,297	46.6% ↓
合計	467,233	

市の平成28年度普通会計決算額を1カ月の家計に例えてみると、小城家の1カ月の収入は46万7千円となっています。収入では、主に、給料や雑収入（寄附金）が増えています。これは、小城家の給料（市税）が増えたことや寄附金（ふるさと応援寄附金）が増えたことによるものです。一方、親からの援助や新たな借入金は減っています。これは、家の増改築（まちなか市民交流プラザ）が完了したことなどに

よるものです。支出では、主に、医療費・教育費等（扶助費）や光熱水費・消耗品等（物件費）などが増えました。これは、障がい者や高齢者に対する支援費用、寄附金に対するお礼の品が増えたことによるものです。一方、家の増改築費用（投資的経費）は大きく減りました。これは、家の増改築（まちなか市民交流プラザ）が完了したことによるものです。

を翌月へ繰り越します。

用語説明

《歳入》

市 税	市民税や固定資産税など市に納められたお金
諸収入・分担金・負担金	貸付金の返済や特定の事業に対し利益を得た者からもらうお金
繰越金	前年度から繰り越されたお金
使用料・手数料	公営住宅の家賃や住民票の発行などで納められたお金
寄附金	ふるさと応援寄附金などの寄附金
財産収入	市が持っている建物や土地の貸付などで入ってきたお金
繰入金	基金などから繰り入れたお金
地方交付税	国税（所得税、法人税、酒税など）の一部から一定の割合の金額を配分されたお金
地方債	資金調達のために借入れた借金
国・県支出金	市が行う特定の事業に対して国や県から交付されたお金
自主財源	市が自ら調達できる収入
依存財源	国や県の決定や割り当てによって交付される収入。市独自で収入額を決められない

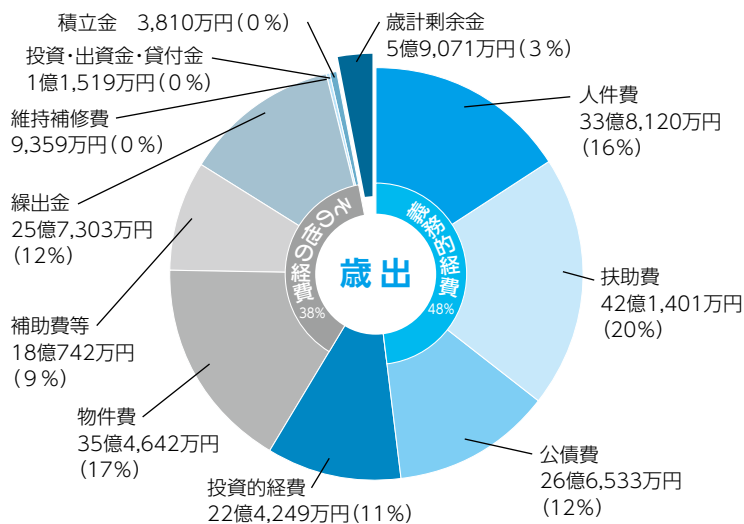
《歳出》

人件費	職員給与や議員報酬などのお金
扶助費	生活保護費、児童手当、障がい者への支援に使われたお金
公債費	これまで借入れたお金の返済に使われたお金
投資的経費	建物や道路などのインフラ整備に使うお金
物件費	業務を行う上で必要な事務費
補助費等	各団体などへの補助金や負担金
繰出金	特別会計などに繰り出すお金
維持補修費	市が管理する施設や道路を維持・補修するお金
投資・出資金・貸付金	市が財産を有効に運用するためのお金
積立金	基金へ積み立てたお金
歳計剰余金	歳入総額から歳出総額を差し引いたお金 ※歳出総額には、歳計剰余金は入りません



普通会計 歳出の内訳

歳出総額 206億7,677万円



※歳出総額には、歳計剰余金は入りません



各会計の決算収支

平成28年度会計別決算

会計名	歳入決算額(収入)	歳出決算額(支出)	
普通会計	一般会計	212億6,878万円	206億7,875万円
	授産場特別会計	2,198万円	2,131万円
	小計	212億9,076万円	207億6万円
特別会計	簡易水道特別会計	985万円	814万円
	下水道特別会計	23億2,860万円	22億5,815万円
	国民健康保険特別会計	60億176万円	60億8,036万円
	後期高齢者医療特別会計	4億9,988万円	4億9,299万円
	小計	88億4,009万円	88億3,964万円
合計	301億3,085万円	295億3,970万円	
公営企業会計	病院事業会計	12億8,398万円	13億3,177万円
	水道事業会計	4億9,726万円	3億3,772万円

※平成28年度決算報告（普通会計）のグラフと上記の普通会計の小計が合わないのは、普通会計間のやり取り（繰入繰出）がなかったもの（相殺）として処理しているためです。

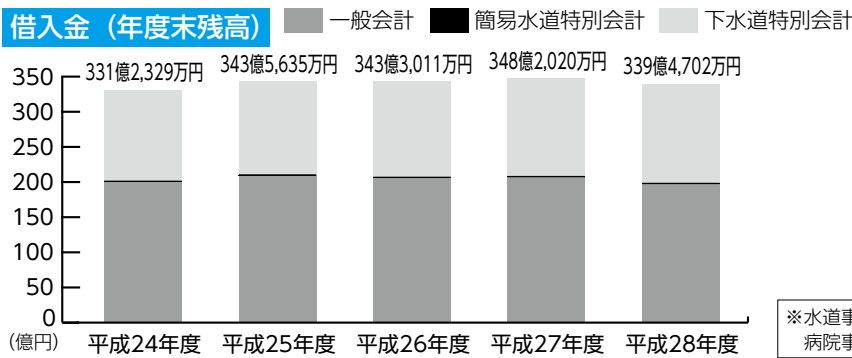
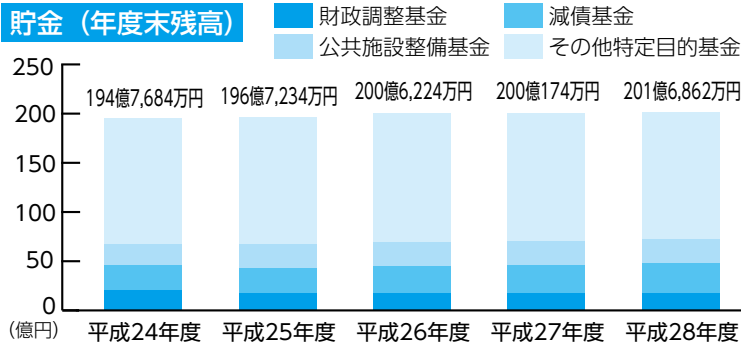
小城家の1カ月の支出の内訳

	支出	増減率
食費（人件費）	74,283	0.7% ↑
医療費、教育費等（扶助費）	92,579	7.6% ↑
ローンの返済（公債費）	58,555	9.2% ↓
光熱水費・消耗品等（物件費）	77,912	6.0% ↑
自治会費、クラブ会費等（補助費など）	39,708	3.9% ↓
子どもへの仕送り（繰出金）	56,528	4.4% ↑
家の修繕費（維持補修費）	2,056	23.1% ↑
友達へ貸したお金（投資・出資金・貸付金）	2,531	19.2% ↑
貯金（積立金）	837	80.6% ↓
家の増改築費用（投資的経費）	49,266	41.2% ↓
合計	454,255	

(収入) - (支出) の12,978円

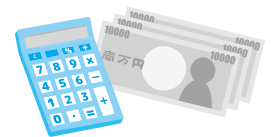


小城市の貯金と借入金（5年分）



市の貯金は、201億6,862万円となり、前年度より1億6,688万円増加しました。また、借入金は前年度より8億7,318万円減り339億4,702万円となりました。

今後も一般会計では、義務教育施設の改築や広域清掃センターの建設などを計画しています。下水道事業についても、平成45年までの整備を計画しています。こうしたことから、小城市の貯金は今後減少していくものと考えられます。



主な事業を紹介します

社会福祉課

低所得者の高齢者向け年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業 1億1,874万4千円

一億総活躍社会の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい高齢者を支援するため、対象者1人につき3万円を支給しました。

健康増進課

健康都市宣言事業 115万2千円

市民の健康への意識を高め、みんなで取り組む「歩くまち」を目指すため、小城市全体で行うラジオ体操会で健康都市宣言を行い、「A R Kマップ」や「あーも！体操」の普及啓発を行いました。

まちづくり推進課

大学誘致周辺環境整備事業 5,078万6千円

西九州大学看護学部の開学に伴い、大学建設地の周辺環境整備のため、小城公園駐車場の整備、市道桜岡小学校・鯖岡線の測量設計、桜岡小学校プールおよび旧桜岡支館の解体工事を行いました。

牛津拠点地区市街地活性化推進事業 324万円

小城市都市計画マスタープランに基づき、産学官民連携による協議会の設置やワークショップを行い、牛津拠点地区の市街地を対象とした「牛津拠点地区市街地活性化基本構想」を策定しました。

企画政策課

資源磨き構想基本計画策定事業 1,397万円

牛津総合公園および牛津保健福祉センター「アイル」周辺を拠点とした健康のまちづくりを推進するために、民間の資金やノウハウを活かしたPPP/PFIなどの官民連携が可能かどうかの調査・検討を行いました。

協働による地域の自治機能向上事業

59万5千円

住民自らが地域の課題に向き合い、行政と一体となってまちづくりを進めるため、三里地区と岩松地区で「協働によるまちづくりワークショップ」を開催しました。

市民課

証明書コンビニ交付事業 1,078万3千円

個人番号カードの利用者用電子証明書を用いて、コンビニエンスストアに設置のマルチコピー機で住民票、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書、所得課税証明書を交付できるようにしました。

環境課

天山地区共同環境組合事業（建設） 1億28万円

可燃ごみ焼却施設の建設、維持管理および施設の運営を多久市と共同で行うため、これに必要な費用を負担しました。



指標からみる財政状況

	平成28年度	平成27年度
経常収支比率 財政の弾力性 (ゆとり) の指標	88.8%	86.3%
実質公債費比率 借金返済の割合	4.9%	6.6%
財政力指数 自前の財源の割合 (3カ年平均)	0.41	0.42
市税徴収率 (現年課税分)	99.1%	98.9%

【経常収支比率】

用途を制限されない経常的な収入（地方税、普通交付税などの毎年収入される性質のもの）に対する経常的な支出（人件費、公債費、扶助費などの毎年経常的に支出されるもの）の割合です。この割合が低いほど自由に使えるお金があることとなります。

【実質公債費比率】

借入金（地方債）の返済額およびこれに準ずる額の大きさを示す指標で、一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率です。この割合が高くなると借入金が制限されることとなります。

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指標です。財政力指数が高いほど自主財源（地方公共団体が自ら調達できる財源）の割合が高く、財政力が強いこととなります。これが1を超えると、普通交付税は交付されなくなります。

平成28年度に実施した

教育総務課

放課後児童健全育成事業 1億2,376万円

保護者が労働などにより昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後に遊びや生活の場を提供するため、5クラブを増設し、小学5年生までを受け入れました。

桜岡小学校プール改築事業 2億2,534万4千円

昭和49年に建設し老朽化・劣化しており、安全性の確保と教育環境の改善のために、新しくプールを改築しました。

牛津小学校施設大規模改造事業 1億4,355万1千円

経年により老朽化しているため平成30年度までに改修予定で、今年度は仮設校舎の建設および校舎南棟東側を整備しました。

保育幼稚園課

保育園幼稚園民営化事業（芦刈幼稚園） 2億3,293万4千円

「小城市公立保育園・幼稚園の再編計画」により、平成29年度から民営化する芦刈幼稚園を引き継ぐために、事業者が実施する施設整備などの費用に対し補助金を交付しました。

建設課

市営住宅建替事業 2億5,299万7千円

牛津駅南地区に、鉄筋コンクリート造、4階建ての市営牛津団地2号棟の整備を行いました。

農村整備課

農業基盤整備促進事業 7,555万3千円

農業競争力の強化を図るため、農業基盤整備として、あんきよ暗渠排水整備、水路整備などを行いました。

農林水産課

林業施設災害復旧事業 1,541万6千円

6月の梅雨前線豪雨により被災した林道天山線や川内線の復旧工事を行い、林道機能を回復しました。

生涯学習課

砥川・学校地域連携推進事業 330万6千円

地域と学校のつながりの場をつくり、地域全体で子どもたちの成長を支えていくため、砥川小学校体育館2階に砥川地域連携室を設置し、支援員を配置しました。

三日月体育館改修事業 2億3,172万6千円

昭和61年に建設し、老朽化していたため、屋根、天井や外壁劣化部などの改修工事を行いました。